



名作を手にとってみよう ～ 前期読書旬間 校長講話～

＜アルジャーノンに花束を(ダニエルキース作)に寄せて＞

今日、私给大家介绍するのは、“アルジャーノンに花束を”です。アメリカの作家、ダニエルキースさんにより、1959年に書かれたものです。

主人公は、32才のチャーリー・ゴードン。彼の日記という形で物語が進みます。彼は小さい子と同じぐらいの知能で、素直で誰にでも親切であろうとする、大きな体に小さな子供の心を持った優しい青年です。あるとき、彼の担任の先生から、開発されたばかりの知能を向上させる脳手術を受けるよう勧められます。彼は、先に動物実験でこの手術をしたハツカネズミ「アルジャーノン」に迷路を使った競争で負けてしまったこともあり、周りの友達と同じになりたい、賢くなりたいという思いから、進んでこの手術を受けます。彼の知能はあらゆるものを吸収していき、ついには周囲の博士や教授を超えるまでの天才になります。大学で学生に混じって勉強することを許され、知識を得る喜び・難しい問題を考える楽しみに満たされていきます。

しかし、チャーリーの心は幼いままでした。急成長した天才的な知能とのバランスが取れず、理屈を振り回し、他人を見下すようになっていきます。周囲の人間が離れていき、彼は手術前にはなかった深い孤独感を味わいます。また、手術をした医師が成果を出すために彼を利用したこと、さらに、忘れていた幼い頃の記憶もよみがえっては彼を苦しめたのです。

そんなある日、彼が世話をしていたアルジャーノンに異変が起こります。

チャーリーは「手術は一時的に知能を発達させるが、性格の発達がそれに追いつかず、やがて知能は失われ、元よりも下降してしまう」ことを突き止めてしまうのです。アルジャーノンも正気を失ったまま死んでしまいました。彼は自分の運命を「哀れむな」、「後悔していない」と受け入れ、もとの生活に戻っていきます。医師に向けて、そして、「どうかついでがあったら、うらにわのアルジャーノンのおはかに花束をそなえてやってください」と締めくくられる物語です。



私はこの本にいくつかのすごさを感じましたが、特に2つのことについてお話しさせてください。

1つめは、何より物語そのものです。

印象に残る言葉で、様々な角度から考えさせられる作品ですが、その一節を紹介します。チャーリーが手術前、差別を受けた体験を振り返って、「自分が優越感にひたって、自分の無能さに安住するためにぼくを利用したんだ。(中略)くらべれば、だれだって自分が聡明だと感じられるからね。」というものがありました。私たちも振り返ってみると、差別やいじめの根元はここではないかと感じます。

2つめは、作者と読者のつながりです。

この物語は空想の小説であり、チャーリーは実在の人物ではありませんが、彼に自分を重ねていった読者が世界中にいるのです。今から約18年前に、日本でこの文庫本ができたとき、その序文に、寄せられた日本の少女からの手紙、それも、頭が悪いとさげすまれ、そのために同級生から笑われいじめにあってきた、という手紙に感動したダニエルキースさん本人が、手紙の返事を書いたことを記しています。

「私はあなたの手紙の美しさと思慮の深さに非常な感銘をおぼえたので、これはぜひともあなたにじきじきに返事を書かなければと思いました。(中略)この小説に登場する何人かの人物に自分を重ねあわせることができるなら、あなたは、知能ばかりか、深い洞察力と感受性をそなえています。あなたの手紙は、あなたがすばらしい人間であることを如実に示している。あなたのような読者をもてた自分はなんとしあわせものかと思いました。どうかお元気で、そして自分を信じることを忘れないように。」 こうして、物語を通して、作者と読者の思いが重なっている、というのがすごいと思います。

このように、本を手にとりてあらためて、中学生の読書感想文コンクールの題材になっていたり、国内外で多数ドラマ化されたり演劇となったりした、愛される名作であることがわかりました。(後略)

今年も始まりました＜アイリスセミナー＞ ～地域に学ぶ学習～

『①地域の方々の特技や技術、そして生き方からも学ぶ』、『②体験活動を中心にしながら追究を深める』、『③学年の枠を取り払った活動を進める』の三つの柱を中心に据えた本校独自の学習活動アイリスセミナーが始まりました。本年度は、11の講座が開設されています。地域講師の皆様、本年度もよろしくお願いいたします。



＜講師紹介式＞



＜ゲートボール講座＞



＜マンダラアート講座＞



＜囲碁・将棋講座＞

※なお、本年度も本校では、「こまゆみ祭」において、郷土芸能のステージ発表がおこなわれます。発表内容は『義民太鼓』と『ささら踊り(夫神地区)』です。今後、放課後練習が本格化していきます。こちらも、地域の方々のご指導をいただいています。



本校伝統の車座集会(生徒集会) ～ テーマは、あいさつは自分から ～

今年度初の車座集会が行われました。テーマは、本年度の重点目標である「あいさつは、自分から」について。自分の姿を振り返ったり今後の心がけを発表したりしました。「挨拶の時に頭を下げたい」、「地域の方や他学年、他校の先生方へもあいさつしたい」「聞きやすい声の高さにしたい」等、具体的な目標がたくさん挙がりました。



7/3(月)みんなでゴテラ(放課後全校学習) 4(火)1学期期末テスト 5(水)3年生保育園実習
7(金)アイリスセミナー③ 10(月)集金日 11(火)小中合同地区子ども会&地区懇談会
14(金)漢字検定①, 1年生予備登山 19(水)計画休業(職員教育視察)
20(木)マリスト海外派遣村長表敬訪問 21(金)1年生登山結団式 吹奏楽部壮行演奏会
24(月)1学期終業式 25, 26(火, 水)1年生八ヶ岳登山, 2年生職場体験, 3年生進路学習
※夏休み・・・7/27(木)～8/21(月)

【自転車通学時の女子生徒の服装に関して、学校からのお知らせ】

安全面の配慮から、上記の件、以下の通りに変更しますのでご理解の程お願いいたします。…『登下校で自転車に乗るときはスラックス、または運動着の下、ハーフパンツを着用すること。スラックス着用期間については、スラックスを着用する。』

【放射線物質検査結果について】：6月の学校給食用食材の「長野県産 きゅうり」「長野県産 たけのこ」から、放射線物質が検出されなかったことをお知らせします。

中体連 上小・東信大会終わる！！

～東信陸上大会(5月開催)には、1年生6名が参加～

5月27日(土)には東信陸上大会が、6月9日(金)・10日(土)には上小大会が、そして、6月24日(土)・25日(日)には同じく東信大会が開催されました。どの部も、精一杯戦ってきました。特に、3年生にとっては最後の大会。自分を信じ、仲間を信じ、顧問を信じて、今まで積み重ねてきた力を出し切ってきました。なお、日頃 ご支援、ご協力を賜っております保護者の皆様、地域の皆様、ここまで本当にありがとうございました。

各部の大会成績

女子バスケットボール部



【上小大会】

予選リーグ 青木中 38-82 上田六中○
青木中 29-44 依田窪南部中○

男子バレーボール部



【上小大会】 6位で東信大会進出

予選リーグ 青木中 0-2 東御東部中○
青木中 0-2 上田六中○
決勝トーナメント 青木中 0-2 塩田中○
青木中 1-2 依田窪南部中○
○青木中 2-1 上田四中

【東信大会】

予選リーグ 青木中 0-2 小諸東中○
青木中 0-2 上田六中○
○青木中 2-1 中込中

女子バレーボール部



【上小大会】

予選リーグ 青木中 0-2 上田四中○
青木中 0-2 真田中○
青木中 0-2 上田五中○

野球部



【上小大会】

一回戦 青木中 0-2 塩田中○

剣道部



○個人戦 横田 隼さん 3回戦ベスト16
林 真優さん 1回戦

東信陸上大会

- ・1年女子 100m 沓掛遥菜さん
(15"11 予選 3位)
- ・1年女子 100m 齊藤帆風さん
(15"27 予選 3位)
- ・1年男子 100m 丸山煌太さん
(13"90 予選 4位)
- ・1年男子 100m 馬場滉太さん
(14"72 予選 6位)
- ・1年男子 1500m 小林飛尋さん
(5' 24"83 決勝 9位)
- ・1年男子 1500m 小林龍一さん
(5' 34"96 決勝 10位)



前日の壮行会！
堀内団長に心を合わせて！



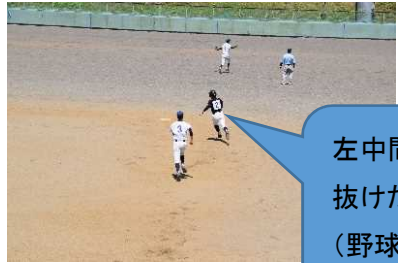
堂々2試合を戦
い抜き、充実の
表情(女バス)



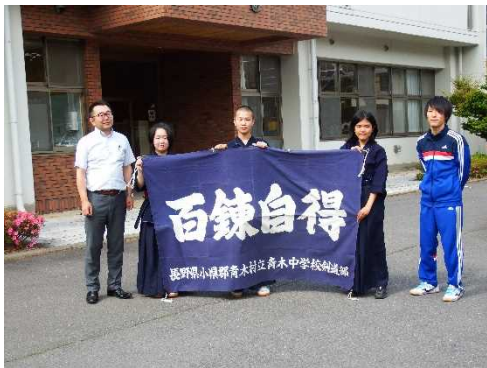
ダミーを飛ばしてオープン攻撃(男バレ)



円陣でチームの意思疎通を図る(女バレ)



左中間
抜けた！
(野球)



部員一人一人が、そ
れぞれの学年を代表
する選手でもあります
(剣道)



「敵は自分」、1年生
ながら全力で戦いに
挑む (東信陸上)

